

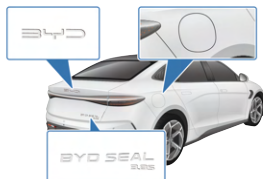
	エアバッグ		起動バッテリー (12V)		パワーバッテリー パック		ケーブルカット
	ガストラット/ プリロード スプリング		高強度域		高電圧部品		高電圧 電源ケーブル
	シートベルト プリテンショナー		SRSコントロール ユニット		蓄圧式ガス インフレーター		特別要注意領域



## 1. 車両識別/認識



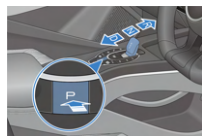
電気モーターの作動音は静かです。インストルメントパネルのOK表示灯が点灯していれば、現在の電気駆動システムは作動可能な状態です。適切な保護具を着用してください。



(日本仕様のAWDモデルは「3.8S」の代わりに、「AWD」のエムブレムが左リア側に取り付けられています。)

## 2. 固定化/安定化/ジャッキアップ

車両の固定



シフトを「P」にしてください



電源ポジションを「OFF」にしてください

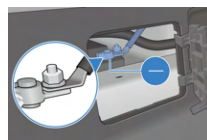
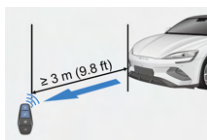
安定化/ジャッキアップポイント



■ 安定化/ジャッキアップポイント  
■ パワーバッテリー

## 3. 直接的な危険回避/安全規則

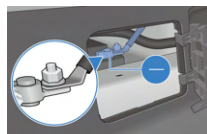
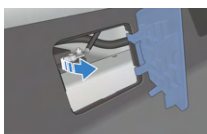
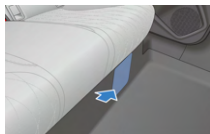
主な回避方法



他の回避方法



起動バッテリー (12V) へのアクセス



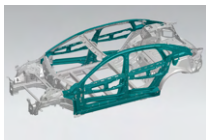
高電圧部品およびパワーバッテリーは、接触、遮断、開放しないでください。  
適切な保護具を着用してください。

エアバッグが展開するような事故が発生した場合、高電圧システムは自動的に停止されます。  
停止後、約60秒後に電源が遮断されます。



## 4. 乗員の救助

高強度域



シート調整



ステアリングコラム調整



ガラスの種類



① 積層ガラス

② 強化ガラス

## 5. 貯蔵エネルギー（液体／気体／固体状態）

		12V
		550.4V
		R-134a: 1600g/1850g R-1234yf: 1400g/1650g



冷媒の漏れがあると、パワーバッテリーパックが不安定になり、熱暴走の危険があります。  
パワーバッテリーパックの温度は赤外線カメラで点検してください。



## 6. 火災の場合



大量の水で消火してください。



バッテリー再発火の危険があります。

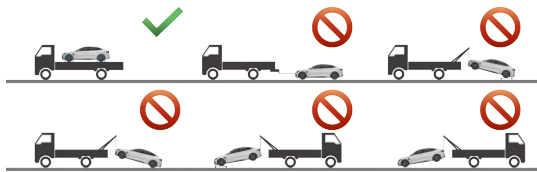
## 7. 水没した場合

車両を水中から引き揚げた後、高電圧システムを遮断し（3章）、車両内の水をすべて排出してください。  
この作業では、適切な保護具を着用してください。



## 8. けん引／輸送／保管

前面フック位置




他の車から離れた安全な場所に保管してください。



バッテリー再発火の危険があります。

## 9. その他の重要な情報

運転席にはサイドエアバッグに加えて、ファーサイドエアバッグがあります。ファーサイドエアバッグは1ページのの位置にあります。

## 10. 使用されているピクトグラムの説明

	急性毒性		エアコン部品
	ボンネット開		金属腐食性
	爆発性		可燃性・引火性
	一般的な警告		人体に有害
	リモートキーを遠ざける		赤外線カメラ使用
	大量の水で消火		警告：電気関連
	警告：低温環境		